

## カザフスタンでコンビニ向け物流事業をスタート

～ RTSーミニストップの物流業務を受託 ～



(カザフスタン共和国アルマティ市 JS物流センター)

センコー株式会社(本社:大阪市 社長:福田泰久 以下、センコー)は、日本のコンビニエンスストアとして中央アジアで初めての出店となるミニストップ殿の物流業務を受託し、カザフスタン共和国でコンビニ物流事業を開始しました。

これまでセンコーは、GMSをはじめスーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストア、ディスカウントストアなど、いろいろな小売業態向けの物流事業を行ってきましたが、コンビニ物流の受託は、国内外で初めてです。

昨年5月、ミニストップ株式会社(本部:千葉市 社長:阿部信行)殿とセンコーは、RTS有限責任事業会社(本社:カザフスタン共和国)殿と合弁事業会社「RTSーMINISTOP」(本社:カザフスタン共和国 以下、RTSーミニストップ)を設立。同社は、カザフスタン共和国のアルマティ市内に、中央アジアでは初めてとなる日本のコンビニエンスストアの出店準備を進めてきましたが、このたび2013年1月18日午前9時(現地時間)に第1号店をオープンしました。

センコーは、物流業務受託にあたって、アルマティ市内にJS(Japan Select)物流センターを開設。同センターで、常温だけでなく、冷蔵と冷凍の保管スペースを備えるほか、冷蔵・冷凍輸送にも対応できる車輛を使って、3温度帯の商品の店舗供給を行います。

今後、RTSーミニストップは、アルマティ市内を中心に、カザフスタン共和国での店舗拡大を進める計画で、センコーは供給店舗の増加に伴い、事業を拡大していく予定です。

なお、カザフスタン共和国での物流業務は、センコー100%出資の現地法人「Japan Select」(本社:カザフスタン共和国、2010年設立)が行います。

以上